

中川・綾瀬川緊急流域治水プロジェクトの進捗状況（松伏町）

～令和5年6月大雨を受けて国・県・市町が連携し、緊急的な取組を実施～

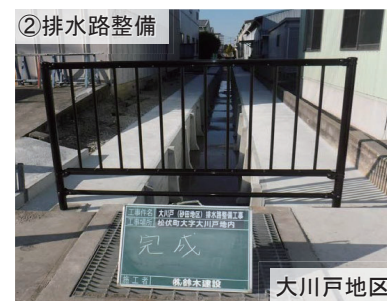
【R7.11末時点】

○松伏町では、「**氾濫をできるだけ防ぐ・減らすための対策**」として、内水氾濫に対応するための排水ポンプ施設の整備、排水路の整備、雨水貯留施設の整備、水防資機材（土のう等）の整備を行います。**「被害対象を減少させるための対策」**として、特定都市河川浸水被害対策法に係る検討・調整、立地適正化計画の作成に向けた検討を実施します。また、「**被害の軽減、早期復旧・復興のための対策**」として、小型浸水センサの設置により浸水箇所を早期に把握し、早期復旧・復興に努めます。



● 氾濫をできるだけ防ぐ・減らすための対策

対策内容	対象地区	主体	進捗率		
			20%	40%	100%
①排水ポンプ施設の整備	松伏地区 等	町			100%
②排水路の整備	松伏地区 等	町			100%
③雨水貯留施設の整備	松伏地区 等	町	10%		
④水防資機材（土のう等）の整備	松伏地区、田中地区	町			100%
⑤下水道浸水被害軽減総合計画		町	10%		



※ 国による「河川整備【中川】」、県による「堤防整備・河道掘削【大落古利根川】」の進捗状況は別紙のとおり

● 被害対象を減少させるための対策

- 令和6年度は、流域水害対策計画の策定に向けた調整を行い、令和7年3月に計画が策定されました。
- 今後は、貯留機能保全区域の設定に向けて関係機関と協議します。

流域水害対策計画の策定

令和7年3月策定済

立地適正化計画の作成

令和6年12月作成済

● 被害の軽減、早期復旧・復興のための対策

- 令和6年度は、松伏地区等において、小型浸水センサの設置を行いました。
- 速やかな避難と浸水被害軽減を図るため、雨水出水浸水想定区域図（内水ハザードマップ）を策定しました。

内水ハザードマップの策定

令和7年3月策定済

小型浸水センサの設置

令和6年8月設置済

